

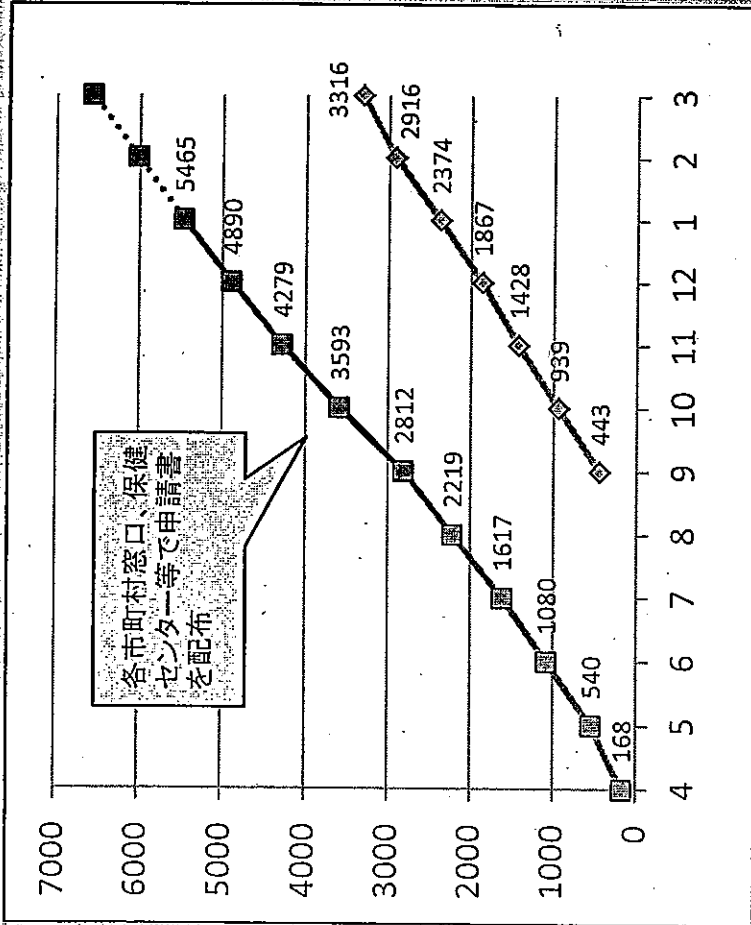
第5回埼玉県少子化対策協議会 資料

- P 1 資料1-1 多子世帯応援クーポン事業の進捗状況
- P 2 資料1-2 H31からの事業の見直し(概要)
- P 3 資料1-3 H31からの事業の見直し(詳細)
- P 4 資料1-4 各市町村へのお願い
- P 5 資料1-5 チケットを直接利用できる登録事業者の拡大
- P 6 資料1-6 登録事業者リスト①～④
- P 11 資料1-7 埼玉県「3キュー子育てチケット」事業の制度見直しに係る周知協力について(依頼)
- P 13 資料2 子どもの生活に関する調査結果の概要
- P 23 資料3-1 31年度 埼玉県予算
「子ども食堂」など多様な子供の居場所の拡大
- P 24 資料3-2 子供の貧困問題・子供の居場所づくりに関するアンケート

多子世帯応援クーポン事業の進捗状況

資料1-1

申請状況(1月末)



年度	H29	H30(1月末現在)
申請件数	3,336	5,465
対象(推計)	7,900	6,600
申請率	42.2%	82.8%

利用者アンケート

(30年9月実施、1190世帯回答)

・満足度

H29 58.9% ⇒ H30 80.7%

・チケットをもらうことで社会から応援されていると感じた 70.5%

・育児の経済的負担の軽減となった 85.2%

・身体的・精神的負担の軽減となった 53.3%

・チケットのおかげで、今まで知らなかった子育てサービスを知るきっかけとなった 55.4%

H31からの事業の見直し(概要)

資料1-2

利用者の声(アンケート結果)

① 利用期間が短い

- 現行：利用期限は年度末まで
「出生が遅いと利用期間が短く、不公平」

② サービスを利用しやすくしてほしい

- クーポンの一括配付を希望 55.3%
- 新しいサービスを試したい 54.4%
- 「2万円ではおむつ、ミルクで終わってしまう」
「母体ケアや子育てサービスに使いたい」などの声

③ 申請をより簡便に

- スマートフォンからの申請を望む声が多い

④ クーポン利用の情報

- 随時、サービス対象メニユーの追加など情報が欲しい

見直しの内容

① クーポン5万円分を一括配布にして、 利用期間を出生の翌年末まで延長

- H31.1出生世帯から5万円一括配付
(クーポン配布済み世帯について経過措置あり)
- H31年クーポンの期限はH32.12月末まで
→ 出生月に関わらず最低1年間の利用期間確保
- おむつ、ミルク以外のサービス利用につながる

② 電子申請を導入

- スマホやパソコンから申請可能
(※紙申請も存続)

③ 利用者にはプッシュ配信

- 利用者のアドレスに、対象メニユーの追加の情報や
お得なサービス情報をプッシュ配信

H31からの事業の見直し(詳細)

①クーポンの利用期限

	H31配付	利用期限
H31出生	5万円一括	H32.12末
H30出生	3万円一括	H32.12末
H29出生	1万円	H31.3末

②電子申請方法

- スマホ又はパソコンにより、県HPの3キューチケットのページから、電子申請を行うことができます。
<添付書類>
- 住民票または子ども医療費受給者証をスマホ又はデジカメで撮影し、電子申請フォームからアップロード(スキャンし、P.D.F化も可)

③H31チケットの配布時期

- 現時点では、委託事業者が決定していないため、未定。
ただし、空白期間に不安を抱かれないよう、県から対象世帯に対し、年度当初に、チケットの到着時期のお知らせをします。

④申請受付窓口の変更

- (従来) 委託事業者 → (変更) 県少子政策課
電子申請、紙申請とも、県が審査し、事業者へ送付

⑤照会窓口を原則メールに

- 原則：Eメール (委託事業者対応)
県ホームページに委託事業者のメールアドレスを掲載(H31事業者決定後)
- 電話の場合：県少子政策課 (048-830-3269)

⑥ホームページを一本化

- 事業者HPを廃止し、県ホームページに一本化

①新チラシへの切り替え

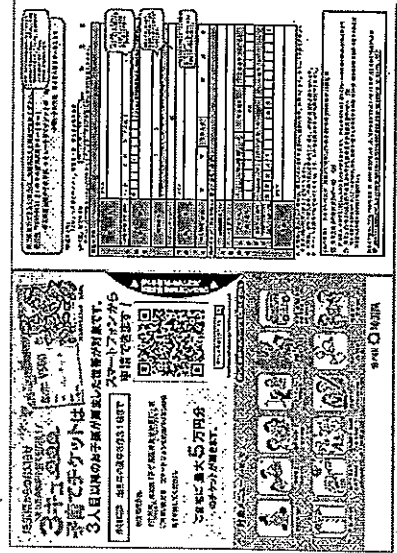
○すでに市町村に納品となった新チラシへの切り替えをお願いします。

○今年度中に切り替えても問題ありません。

○原則電子申請とするため、裏面の紙申請書による場合は、申請者が封筒、郵送用にご負担いただきます。(※紙申請の場合の宛名は、県少子政策課)

※切り替えが間に合わない場合は、空白期間を作らないように、在庫のパッケージを配付してください。(宛名が事業者になつていますが、構いません)

(表) 電子申請用 (裏) 紙申請書



②市町村広報の修正

(現行) 「2・2・1万円のクーポンを配付」



(H31～) 「5万円クーポンを一括配付」

○HPなど、修正可能な範囲での修正をお願いします。(印刷物は、次回印刷の際に修正をお願いします。)

③保健センターとの連携

○別紙通知を少子化対策担当課長、母子保健担当課長に送付します。

H31も、県から保健センターに直接依頼

[通知内容]

- ・制度見直しについて
- ・産前サービスもクーポンの対象(換金に限る)
- ・母子手帳交付時のチラシ配布による周知協力

現在の事業者数

8月時点 184 → 現在 360
(手続き中の事業者を含めると411)

県HPで、登録事業者情報の最新情報を掲載しています。

各地域の状況

登録事業者 (店舗) がない市町村 12

北本市、幸手市、三芳町、毛呂山町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、横瀬町、皆野町、長瀬町、東秩父村

(北本市、幸手市、三芳町の事業者は手続き中)

※ 対象サービスを提供していて、3キユー子育て事業に協力し、登録事業者と
なっていただけの事業者について、引き続き情報提供をお願いします。

登録事業者リスト①

資料1-6

サービス種別	No	事業者名	所在地
家事ヘルパー	1	㈱ソルキンホーキー	ふじ野市
	2	㈱アイナロハ ままのわ	所沢市
	3	㈱タカミサプライ	東京都渋谷区
	4	㈱コマーム	川口市
	5	エココレ	川越市
	6	特定非営利活動法人きらりひとみやしろ	宮代町
	7	キッズほけっと	松伏町
	8	一般社団法人認定産後ドゥーラ やの ゆきこ	志木市
	9	クリーニングやなぎ	草加市
	10	まごころクリーニングわが	さいたま市大宮区
	11	田辺クリーニング	杉戸町
	12	産後ドゥーラ 後藤 美晴	さいたま市桜区
	13	クリーニングこやなぎ	新座市
	14	クリーニングハウスPOPO	坂戸市
	15	ワグワグクリーニング店	ときがわ町
	16	㈱タカミサプライ	東京都渋谷区
	17	㈱コマーム	川口市
ベビーシッター	18	医療法人愛和会 愛和病院	川越市
	19	助産院もりあね	所沢市
	20	ナラヤマレディースクリニック	上尾市
	21	さいたま助産院	さいたま市北区
	22	おいかわ助産院志木母乳育児相談室	新座市
	23	㈱コマーム	川口市
	24	息吹助産院	越谷市
	25	陽だまり助産院	さいたま市見沼区
	26	桶谷式乳房管理法笛木助産院	さいたま市見沼区
	27	高瀬母乳育児相談室	上尾市
	28	Happiness Step Life	さいたま市南区
	29	マリア助産院	東松山市
	30	㈱アイナロハ ままのわ	所沢市
	31	助産院 母魂	春日部市
	32	ともみ母乳相談室	さいたま市岩槻区
	33	エンジェル母乳相談室/アロマエンジェル	さいたま市緑区
	産後のケア	34	三日月鍼灸指圧院
35		大平助産院 母乳育児相談室	所沢市
36		たぐち整骨院	草加市
37		瀧田助産院	越谷市
38		助産院ガジュマル	鶴ヶ島市
39		愛助産院	三郷市
40		りそら整体	川口市
41		耳つぼダイエツサロンプル	さいたま市大宮区
42		桶谷式はるにれ母乳育児相談室(訪問)	川越市
43		さとう助産院(さとう母乳育児相談室)	越谷市
44		医)辰和会 佐藤産婦人科	越谷市
45		あごら助産院	越谷市
46		松永助産院	川越市
47		はとがや助産所	川口市
48		原川助産院	狭山市
49		VIDAカイロプラクティック大宮整体院	さいたま市
50		名倉堂新築はりきゆう整骨院	草加市

サービス種別	No	事業者名	所在地
産後のケア	51	こんどう助産院	川口市
	52	まな母乳育児相談室	入間市
	53	中島助産院	熊谷市
	54	うめむら助産院母乳育児相談室	草加市
	55	そよかぜ母乳育児相談室	羽生市
	56	日一ガ療法教室 KULA YOGA	本庄市
	57	YOGA一紗世	西東京市
	58	一般社団法人認定産後ドゥーラ やの ゆきこ	志木市
	59	産後ケアハウスわたなべ	さいたま市
	60	doula mamen	深谷市
	61	むさし鍼灸整骨院	さいたま市大宮区
	62	メディカルケア・カイロ南与野	さいたま市中央区
	63	松田母子クリニック	所沢市
	64	産後ドゥーラ 後藤 美晴	さいたま市桜区
	65	宇徳接骨院	さいたま市北区
	66	スズキユキオ療治院	東松山市
	67	たばた鍼灸接骨院	東松山市
	68	仁接骨院	さいたま市緑区
	69	東大宮かねこ接骨院	さいたま市南区
	70	名倉整骨院	さいたま市南区
	71	響総合整体	熊谷市
	72	光和堂鍼灸治療院	さいたま市西区
	73	坂ノ下温泉院	戸田市
	74	恵夏堂鍼灸整骨院大宮院	さいたま市大宮区
	75	恵夏堂鍼灸整骨院土呂院	さいたま市大宮区
	76	恵夏堂鍼灸整骨院東大宮院	さいたま市大宮区
	77	大野接骨院	上尾市
	78	向日葵鍼灸院	上尾市
	79	KAWAECカイロプラクティック	さいたま市浦和区
	80	骨格屋	草加市
	81	ほね大工 佐藤整骨院	さいたま市浦和区
	82	高橋接骨院	寄居町
	83	ほねつぎ 大野接骨院	さいたま市西区
	84	はつぴー母乳育児相談室	三郷市
	85	山川接骨院	深谷市
	86	長生館接骨院	蕨市
	87	いでから接骨院	東松山市
	88	うしくほ治療院	川越市
	89	新越谷カイロプラクティック院	越谷市
	90	大谷接骨院	東松山市
	91	タケダ整骨院	宮代町
	92	アーク鍼灸治療院	吉川市
	93	和心はり灸整骨院	越谷市
	94	白くま整骨院	さいたま市北区
	95	大谷今野整骨院	さいたま市見沼区
	96	なごみ整骨院	狭山市
	97	知久接骨院	さいたま市北区
	98	山ぐち接骨院	坂戸市
	99	やまぶき鍼灸接骨院	川越市
	100	エンジェル助産院	越谷市

サ-ビス種別	NO	事業者名	所在地
産後のケア	101	神川接骨院	神川町
	102	リバーズ北野治療院	所沢市
	103	やわら接骨院	羽生市
	104	むつみ接骨院	深谷市
	105	荻野整骨院	川越市
	106	おはな接骨院	上尾市
	107	快整体 おきらく	所沢市
	108	きだに名倉接骨院	狭山市
	109	あしがわら接骨院 鍼灸院	上里町
	110	あんず接骨院	東松山市
	111	ほんごう接骨院	さいたま市北区
	112	深谷はたら接骨院	深谷市
	113	大里接骨院	熊谷市
	114	さら助産院	八潮市
	115	マタニティ&レディーズサポートかゆけり	越谷市
	116	中村産婦人科	小川町
	117	はぐはぐベイ	さいたま市南区
	118	あごら助産院	越谷市
	119	医療法人愛和会 愛和病院	川越市
	120	息吹助産院	越谷市
	121	おいかわ助産院志木母乳育児相談室	新屋市
	122	ナラヤマレディーズクリニック	上尾市
	123	さいたま助産院	さいたま市北区
	124	あん整骨院	さいたま市北区
	125	数土助産所すど母乳育児相談室	朝霞市
	126	きこまらみらみ	越谷市
	127	こんどう助産院	川口市
	128	たかさか中央接骨院	東松山市
	129	瀧田助産院	越谷市
	130	中島助産院	熊谷市
	131	エンジェル母乳相談室/アロマエンジェル	さいたま市緑区
	132	助産院 母親	春日部市
	133	はとがや助産所	川口市
	134	松永助産院	川越市
	135	三日月鍼灸指圧院	自衛市
136	助産院もりあね	所沢市	
137	VIDAカイロプラクティック大宮整体院	さいたま市	
138	YOGA一紗世	さいたま市	
139	りそら整体	西東京市	
140	ヨーガ療法教室 KULA YOGA	川口市	
141	産後ケアハウスわたなべ	本庄市	
142	doula maman	さいたま市緑区	
143	医療法人埼玉愛育会 太田マタニティクリニック	深谷市	
144	あおば整骨院	日高市	
145	松田母子クリニック	桶川市	
146	仁接骨院	所沢市	
147	名倉整骨院	さいたま市緑区	
148	光和堂鍼灸治療院	さいたま市南区	
149	白岡名倉堂整骨院	さいたま市西区	
150	いろは整体院	白岡市	
		東松山市	

サ-ビス種別	NO	事業者名	所在地
マッサ-ジ・マタニティ・ヨガなど	151	泉整骨院	飯能市
	152	あんず接骨院	東松山市
	153	カイロプラクティックステ-ジ 京一郎	狭山市
	154	大里接骨院	熊谷市
	155	さら助産院	八潮市
	156	マタニティ&レディーズサポートかゆけり	川越市
	157	オタカ接骨院	白岡市
	158	有限会社共和タクシ- (彩和タクシ-グループ)	白岡市
	159	富澤タクシ- 有限会社 (彩和タクシ-グループ)	白岡市
	160	昭和タクシ- 有限会社 (彩和タクシ-グループ)	白岡市
	161	大宮自動車 大宮営業所 桶川営業所	さいたま市大宮区
	162	練八千代交通	川口市
	163	有限会社志木合同タクシ-	朝霞市
	164	株式会社イーエム・アイ 子育て支援イルカタクシ-	所沢市
	165	株式会社岩瀬タクシ-	さいたま市
	166	学校法人東松山学園 松山幼稚園	東松山市
	167	学校法人人間学園 ながはま幼稚園	日高市
	168	聖学院みどり幼稚園	さいたま市西区
	169	認定こども園 岩瀬ひまわり幼稚園	さいたま市岩槻区
	170	学校法人 岩瀬町田学園 認定こども園 恵泉幼稚園	さいたま市岩槻区
ファミリーサポート	171	鶴ヶ島ファミリーサポートセンター	鶴ヶ島市
	172	上里町ファミリーサポートセンター	上里町
	173	公益社団法人 深谷市シルバー人材センター	深谷市
	174	公益社団法人 久喜市シルバー人材センター	久喜市
	175	公益社団法人 葛加市シルバー人材センター	葛加市
	176	公益社団法人 越谷市シルバー人材センター	越谷市
	177	公益社団法人 吉川市シルバー人材センター	吉川市
	178	公益社団法人 滑川町シルバー人材センター	滑川町
	179	公益社団法人 小鹿野町シルバー人材センター	小鹿野町
	180	公益社団法人 杉戸町シルバー人材センター	杉戸町
	181	公益社団法人 松伏町シルバー人材センター	松伏町
	182	公益社団法人 加須市シルバー人材センター	加須市
	183	公益社団法人 越生町シルバー人材センター	越生町
	184	公益社団法人 美里町シルバー人材センター	美里町
	185	公益社団法人 上尾市シルバー人材センター	上尾市
	186	公益社団法人 伊奈町シルバー人材センター	伊奈町
	187	公益社団法人 人間市シルバー人材センター	人間市
	188	公益社団法人 狭山市シルバー人材センター	狭山市
	189	公益社団法人 川口市シルバー人材センター	川口市
	190	公益社団法人 新屋市シルバー人材センター	新屋市
191	公益社団法人 宮代町シルバー人材センター	宮代町	
192	つかさ保育園 蔵市わらび園	蔵市	
193	養学会 川越クレアモ-ル保育園	川越市	
194	秀学会 新所沢駅前保育園	所沢市	
195	養学会 所沢ハナズキ保育園	所沢市	
196	さいたまエンゼルホーム	さいたま市北区	
197	このすたぽろ保育園 事業所内保育所 元気キッズ	鴻巣市	
198	川口市立川口駅前保育園	名古屋市	
199	特定非営利活動法人 子育てステ-ションたんぽぽ	久喜市	
200	学校法人人間学園 ながはま幼稚園	日高市	

マッサ-ジ・マタニティ・ヨガなど
タイヨガなど

登録事業者リスト③

資料1-6

サービス種別	NO	事業者名	所在地
一時預かり	201	ニコニコルーム	草加市
	202	学校法人東松山学園松山幼稚園	東松山市
	203	ひまわり幼稚園	川越市
	204	ひまわり東幼稚園	川越市
	205	ひまわり南幼稚園	川越市
	206	草加ひまわり幼稚園	草加市
	207	NPO法人カローレ 第2ペーカール一丸	鶴ヶ島市
	208	あきざき保育園	狭山市
	209	特定非営利活動法人きらりびとみやしろ	宮代町
	210	社会福祉法人栄登会 ゆうりん保育園	さいたま市北区
	211	一般社団法人認定産後ドクター やの ゆきこ	志木市
	212	学校法人上岡学園 越谷くまのみ幼稚園	越谷市
	213	きたはら幼稚園・ナーサリー-KITAHARA	富士見市
	214	社会福祉法人埼玉親成会 飯能元氣保育園	飯能市
	215	あおぞらウィングルム保育園	さいたま市大宮区
	216	子どものその幼保連携型認定こども園	ふじみ野市
	217	学校法人岩槻野田学園 認定こども園 恵泉幼稚園	さいたま市岩槻区
	218	大宮幼稚園	さいたま市大宮区
	219	学校法人慶和学園 認定こども園しらゆり	蓮田市
	220	医療法人愛和会 愛和病院	川越市
	221	(福)愛の泉愛乳児園 ティエイハウス	加須市
	222	きらきら学童保育クラブ	本庄市
	223	丹荘学童保育所	神川町
	224	学校法人人間学園 たかはぎ幼稚園	日高市
	225	学童越谷中央教室	越谷市
	226	特定非営利活動法人ふじみ野市学童保育の会	ふじみ野市
	227	元氣学童クラブ	深谷市
	228	特定非営利活動法人いずみクラブ	本庄市
229	学童保育所みらい	本庄市	
230	ふじみ野市立東台放課後児童クラブ	ふじみ野市	
231	ふじみ野市立東久保放課後児童クラブ	ふじみ野市	
232	ふじみ野市立三角放課後児童クラブ	ふじみ野市	
233	ふじみ野市立西原放課後児童クラブ	ふじみ野市	
234	ふじみ野市立東原放課後児童クラブ	ふじみ野市	
235	ふじみ野市立大井放課後児童クラブ	ふじみ野市	
236	ふじみ野市立第2鶴ヶ丘放課後児童クラブ	ふじみ野市	
237	ふじみ野市立鶴ヶ丘放課後児童クラブ	ふじみ野市	
238	松本学童	さいたま市緑区	
239	駒産院もりあね	所沢市	
240	特定非営利活動法人子育てステーションたんぽぽ	久喜市	
241	シネティアア21	熊谷市	
242	学校法人弘道学園秩父こども園	秩父市	
243	つかさ保育園和光市和光園	和光市	
244	つかさ保育園蕨市わらび園	蕨市	
245	学校法人人間学園たかはぎ幼稚園	日高市	
246	川口市立人間学園保育園	川口市	
247	川口市立菅木保育園	川口市	
248	アスク東大宮保育園	さいたま市見沼区	
249	アスクむさしうらわ保育園	さいたま市みなみカ	
250	アスク栗川口保育園	川口市	

サービス種別	NO	事業者名	所在地
その他 (保育施設における 実費徴収分)	251	アスク志木駅前保育園	志木市
	252	アスクわかば保育園	坂戸市
	253	コマムナーサリー川口(株)コマム	川口市
	254	Kurita のんな(株)コマム	越谷市
	255	特定非営利活動法人子育てステーションたんぽぽ	久喜市
	256	松山南幼稚園	東松山市
	257	学校法人東松山学園松山幼稚園	東松山市
	258	ひまわり幼稚園	川越市
	259	ひまわり東幼稚園	川越市
	260	ひまわり南幼稚園	川越市
	261	草加ひまわり幼稚園	草加市
	262	聖学院みどり幼稚園	さいたま市西区
	263	スマイルサンキッズ保育園	所沢市
	264	あきざき保育園	狭山市
	265	風渡野保育園	さいたま市緑区
	266	北浦和駅前保育園	さいたま市緑区
	267	松本保育園	さいたま市緑区
	268	(社)福)育育会 百間保育園	宮代町
	269	武蔵浦和コマさん保育所	川口市
	270	吉川つばさ保育園	吉川市
	271	学校法人西光学園 大家幼稚園	坂戸市
	272	(社)福)育育会 本田保育園	宮代町
	273	学校法人三輪学園 みわ幼稚園	志木市
	274	(社)福)こぐま保育園	さいたま市緑区
	275	学校法人南陽学園 旭幼稚園	川口市
	276	浦和みひかり幼稚園	さいたま市南区
	277	学校法人岩槻金子学園 河合幼稚園	さいたま市岩槻区
	278	(社)福)英清学園 信愛保育園	春日部市
	279	本庄すみれ幼稚園	本庄市
	280	学校法人馨学園 ひさみ幼稚園	東松山市
	281	杏ほいくえん	入間市
	282	学校法人上岡学園 越谷くまのみ幼稚園	越谷市
	283	学校法人東通学園 白鳥幼稚園	飯能市
	284	きたはら幼稚園・ナーサリー-KITAHARA	富士見市
	285	大宮幼稚園	さいたま市大宮区
	286	学校法人双葉学園 認定こども園ふたば	春日部市
287	足立みどり幼稚園	志木市	
288	学校法人水島学園 認定こども園ひだまり	桶川市	
289	行田保育園	行田市	
290	認定こども園 岩槻ひまわり幼稚園	さいたま市岩槻区	
291	小川大宮幼稚園	小川町	
292	小川大宮幼稚園	小川町	
293	社会福祉法人あゆみの会 三丁目すまいる保育園	ふじみ野市	
294	あおぞらウィングルム保育園	さいたま市大宮区	
295	スキップ川口保育園	川口市	
296	アーバンみらい東大宮プライムキッズガーデン保育園	さいたま市見沼区	
297	学校法人光栄学園 幼保連携型認定こども園みどりの丘こども園	松伏町	
298	榎の木保育園	深谷市	
299	ゆゆうくら保育園	上尾市	
300	子どものその幼保連携型認定こども園	ふじみ野市	

登録事業者リスト④

資料1-6

サニビズ種別	NO	事業者名	所在地
その他 (保育施設における 実費徴収分)	301	学校法人 東松幼稚園	東松山市
	302	学校法人市之瀬学園 おおのみち保育園	志木市
	303	社会福祉法人常盤会 大山保育園	朝霞市
	304	社会福祉法人にしとんぐり保育園	湊川町
	305	しらかばと保育園	熊谷市
	306	豊里保育園	蓮田市
	307	学校法人慶和学園 認定こども園しらゆり	川越市
	308	学校法人ひつじ幼稚園 ひつじ幼稚園	上尾市
	309	スタジオアリス上尾店	上尾市
	310	スタジオアリス人間店	人間市
	311	スタジオアリスせんげん台店	春日部市
	312	スタジオアリス加須店	加須市
	313	スタジオアリス戸塚安行店	川口市
	314	スタジオアリスニトリ川越店	川越市
	315	スタジオアリス川越南台店	川越市
	316	スタジオアリス久喜店	久喜市
	317	スタジオアリス熊谷店	熊谷市
	318	スタジオアリス東越谷店	越谷市
	319	スタジオアリスLIP岩槻店	さいたま市岩槻区
	320	スタジオアリス葛加西町店	葛加市
	321	スタジオアリス所沢店	所沢市
	322	スタジオアリス新座店	新座市
	323	スタジオアリス和光白子店	和光市
	324	スタジオアリス鶴店	蕨市
	325	スタジオアリス東浦和店	さいたま市緑区
	326	スタジオアリス大宮店	さいたま市見沼区
	327	いりそ写真館	狭山市
	328	トヨシマ・フォト・スタジオ	さいたま市浦和区
	329	家族写真館	狭山市
	330	(有)山口写真	越生町

サニビズ種別	NO	事業者名	所在地
その他(写真撮影)	331	(有)フォトスタジオおおの	飯能市
	332	スタジオアリス行田館&プレジュースタジオ埼玉行田店	行田市
	333	スタジオアリス東松山館	東松山市
	334	スタジオアリス坂戸館	坂戸市
	335	オーナリー写真館	さいたま市大宮区
	336	中島写真館	川口市
	337	フォトショップ ニットウ	本庄市
	338	ふおとらんど アサノ	日高市
	339	飯野写真館	深谷市
	340	ホツタスタジオ	草加市
	341	鳩ヶ谷フォトスタジオ	川口市
	342	(有)横田写真館	草加市
	343	ヤナセ写真館	熊谷市
	344	所沢創寫館	所沢市
	345	フォトスタジオ清宮	吉川市
	346	本橋写真館	戸田市
	347	フォトスタジオ ミルフイーユ川越店	川越市
	348	フォトスタジオ ミルフイーユ上尾店	上尾市
	349	フォトスタジオ ミルフイーユ浦和店	さいたま市南区
	350	ふおとすとすて〜しよん	さいたま市西区
	351	スタジオハッピースマイル	さいたま市浦和区
	352	ライフスタジオ大宮店	川越市
	353	ひまわり堂スタジオ 川越時の鐘店	補川市
	354	ひまわり堂スタジオ 本店	越谷市
	355	Studio写LULU越谷店	志木市
	356	カタキリスタジオ	坂戸市
357	モリタ写真館	鴻巣市	
358	池沢スタジオ	さいたま市緑区	
359	ライフ写真	小川町	
360	中村産婦人科	小川町	

少子第 1806 号
平成31年3月18日

各市町村少子化対策担当課長 様
各市町村母子保健担当課長 様

埼玉県福祉部少子政策課長
(公 印 省 略)

埼玉県「3キュー子育てチケット」事業の制度見直しに係る
周知協力について (依頼)

少子化対策の推進については、日頃格別の御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、標記事業については、利用者アンケートなどを踏まえ、今まで以上に利用しやすい制度とするため、平成31年度から制度の見直しを行います。

については、チラシ配布などの協力をいただいている窓口の職員や保健センター職員へ別紙のとおり周知をお願いいたします。

また、このチケットは、妊娠中のサービス利用も対象となります。妊娠中の母体ケアサービス等の一層の利用促進を図るため、母子手帳交付時等での妊婦の方への事業周知に協力くださるようお願いいたします。

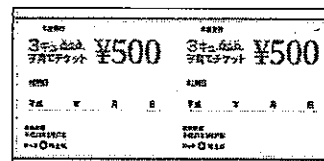
担当：企画・子育てムーブメント担当
千明・浅生
電話：048-830-3269

「3キュー子育てチケット」事業について

1 事業概要

多子世帯の育児にかかる負担を軽減するため、第3子以降が生まれた世帯に子育てサービス等に利用できる「3キュー子育てチケット」を配付するもの。

(詳細はチラシ・ホームページを参照ください)



2 平成31年度の見直し内容

(1) チケットの配布方法

見直し前

計5万円分のチケットを3年間で2万・2万・1万円に分割して毎年度配布(有効期限は当該年度末)

見直し後

5万円分のチケットの一括配布(有効期限は出生年の翌年末)

(2) 申請方法

電子申請を導入(従来どおりの紙申請書の郵送による申請も可)

3 妊娠中のサービス利用について

妊娠中に利用したサービスも、従来どおりチケットの利用対象です。換金手続きには領収書・レシートが必要です。

妊娠中の方へも本事業の周知にご協力願います。

- ※ 申請手続き及びチケットの交付は誕生日以降となります。
- ※ 各保健センターへ別添の新しいチラシを平成31年5月頃、送付させていただきますので、配布にご協力くださるようお願いいたします。
- ※ 新チラシが届くまでの間は、旧チラシを配布ください。

(参考) 利用可能サービスの一例

- ◆ 家事ヘルパー
- ◆ ベビーシッター、一時預かり(妊娠中・入院中の第1子・第2子の預かりにも)
- ◆ 産前産後ケア、母乳ケア、骨盤矯正
- ◆ マタニティヨガ、マタニティマッサージ

お問い合わせ先 埼玉県福祉部少子政策課 企画・子育てムーブメント担当
電話 048-830-3269

子どもの生活に関する調査結果の概要

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、埼玉県内の子どもを取り巻く生活環境や生活困窮等に陥る要因等を調査し、平成32年度から始まる次期「埼玉県子育て応援行動計画」の見直しデータとして活用することを目的に実施した。

(2) 実施主体 埼玉県立大学

(3) 調査対象

子供の年齢	調査対象
中学2年生	調査実施市町の公立中学校に通う生徒と保護者
小学2年生・5年生	調査実施市町の公立小学校に通う児童と保護者
5歳児	調査実施市町の幼稚園・保育所※に通う年長児の子供がいる家庭
0歳児	調査実施市町の0歳児の子供がいる家庭

※ 調査実施市町：熊谷市・本庄市・狭山市・新座市・宮代町・杉戸町

※ 幼稚園・保育所については調査に協力いただいた6市町計133か所で実施

(4) 調査対象の抽出・調査方法

子どもの年齢	調査期間	調査方法
小学2年生・5年生 中学2年生	平成30年7月5日～15日	小学校、中学校を通じて児童・生徒に配布・回収
5歳	保育所 平成30年8月1日～17日 幼稚園・認定こども園 平成30年9月1日～14日	保育所・幼稚園を通じて保護者に配布・回収
0歳	平成30年8月1日～ 10月15日	検診時で直接配布、各家庭への郵送等により配布し、郵送で回収

(5) 有効回収

子どもの年齢	発送数	有効回収数	有効回収率
0歳児	1,588件	538件	33.9%
5歳児	3,889件	3,077件	79.1%
小学2年生	5,444件	4,806件	88.3%
小学5年生	5,508件	4,627件	84.0%
中学2年生	5,244件	4,081件	77.8%
合計	21,673件	17,129件	79.0%

2 分析軸の設定

(1) 世帯分類

本調査では、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づき作成された貧困線以下の可処分所得であるもの、それに加えて、「衣・食・住」という基本的な生活の場面で課題が生じている家庭や、経済的な理由でライフラインに関わる支払いが滞っている家庭においては、生活困難の度合いがより高いのではないかと仮説のもと、2つの要素を使って、生活困難層、中間層、非該当層に分類している。

【要素1】 生活困難層の判定方法

世帯員	分類Ⅰ	分類Ⅱ	分類Ⅲ +要素2が 2つ以上 生活困難層Ⅲ / +要素2が 1つ以下 生活困難層Ⅳ	分類Ⅳ	分類Ⅴ	分類Ⅵ	参考国基準
	生活困難層Ⅰ	生活困難層Ⅱ	生活困難層Ⅳ	生活困難層Ⅴ	非生活困難層	非生活困難層	
1人	60万円未満	120万円未満	180万円未満	240万円未満	300万円未満	300万円以上	122万円
2人	85万円未満	175万円未満	260万円未満	345万円未満	430万円未満	430万円以上	173万円
3人	105万円未満	210万円未満	315万円未満	420万円未満	525万円未満	525万円以上	211万円
4人	120万円未満	245万円未満	365万円未満	485万円未満	605万円未満	605万円以上	244万円
5人	135万円未満	275万円未満	410万円未満	545万円未満	680万円未満	680万円以上	273万円
6人	150万円未満	300万円未満	450万円未満	600万円未満	750万円未満	750万円以上	299万円
7人	160万円未満	325万円未満	485万円未満	645万円未満	805万円未満	805万円以上	323万円
8人	175万円未満	345万円未満	520万円未満	695万円未満	870万円未満	870万円以上	345万円
9人	185万円未満	365万円未満	550万円未満	735万円未満	920万円未満	920万円以上	366万円

【要素2】 過去1年間に買えなかった経験、支払えなかった経験、以下の7項目のうち2項目以上該当

- ① 食料 ② 衣類 ③ 電話料金 ④ 電気料金 ⑤ ガス料金
⑥ 水道料金 ⑦ 家賃

※ ① 食料 ② 衣類は「よくあった」「ときどきあった」のいずれかの場合

比較検討は 全体、生活困難層、中間層、非該当層別に行う。

- ☛ 可処分所得が分類Ⅰの世帯 → 生活困難層Ⅰ【生活困難層】
- ☛ 可処分所得が分類Ⅱの世帯 → 生活困難層Ⅱ【生活困難層】
- ☛ 可処分所得が分類Ⅲ+要素2の項目が2つ以上ある世帯 → 生活困難層Ⅲ【生活困難層】
- ☛ 可処分所得が分類Ⅲ+要素2の項目が1つある世帯 → 生活困難層Ⅳ【中間層】
- ☛ 可処分所得が分類Ⅳの世帯 → 生活困難層Ⅴ【中間層】
- ☛ 上記に該当しない世帯 → 非生活困難層【非該当層】

(2) 年齢別・生活困難度別内訳

0歳児保護者調査 (上段：件数、下段：%)

調査数	生活困難層	中間層	非該当層
1,520	115	439	966
100.0	7.6	28.9	63.6

5歳児保護者調査 (上段：件数、下段：%)

調査数	生活困難層	中間層	非該当層
3,077	272	837	1,968
100.0	8.8	27.2	64.0

小学2年生調査

調査数	生活困難層	中間層	非該当層
4,806	429	1,228	3,149
100.0	8.9	25.6	65.5

小学5年生調査

調査数	生活困難層	中間層	非該当層
8,439	797	2,045	5,597
100.0	9.4	24.2	66.3

中学2年生調査

調査数	生活困難層	中間層	非該当層
6,429	642	1,457	4,330
100.0	10.0	22.7	67.4

全体

調査数	生活困難層	中間層	非該当層
24,271	2,255	6,006	16,010
100.0	9.3	24.7	66.0

3 世帯の状況

(1) 収入・家計の状況

生活困難層の割合は、全体では9.3%だが、年齢別では、中学2年生の世帯で10.0%と高くなる傾向が見られた。一方、世帯類型別では、母子世帯では39.0%と全体と比べて生活貧困層の割合が大きく上回った。

【世帯類型別生活困難層の割合】

	全体	うち母子世帯
調査数(人)	2,255	846
生活困難層の割合	9.3%	39.0%

現在の暮らしの状況について「苦しい」と回答した割合は所得水準が低いほど高くなり、非該当世帯では25.9%に対し、生活困難層では74.5%となっている。世帯類型別では、「苦しい」と回答した割合は母子世帯で多く、母子の非該当層は非該当層全体に比べて19.7ポイント高い45.6%となった。

貯蓄については、貯金がないと回答した割合は子どもの年齢が上がるにつけて上昇する(0歳児：6.8%→中2：12.3%)。また、生活困難層の39.5%、中間層の14.7%で貯金がないと回答している。

「食料が買えない」「衣類が買えない」という状況があった割合は生活困難層で47.6%、「電話・電気・ガス・水道料金」が払えない状況があった割合は約19% (非該当層約1%) といずれも高い割合を示した。特に税金・国民健康保険料では30.2%で払えないことが「あった」と回答している。

教育費については、生活困難層では59.8%、母子世帯の生活困難層では62.8%で準備できていないと回答している。

(2) 親の就労時間

母親の1週間の就労状況では、就労日数が1～4日までは非該当層が生活困難層を上回るが、週5日以降は生活困難層が非生活困難層を上回る。また就労時間では、6時間以上になると生活困難層が非該当層を上回り、1日12時間以上働く母子世帯の生活困難層は1.2% (全体では0.6%) あった。母親が長時間の労働に従事していたり、ひとり親であるために仕事と家事や子育てに時間を多く費やされてしまっているような場合、欠食や子どもと向き合う十分な時間が取れないことで、子どもが不安定になったりするなどの影響が現れることが危惧される。

(3) 制度・サービスの認知・利用状況

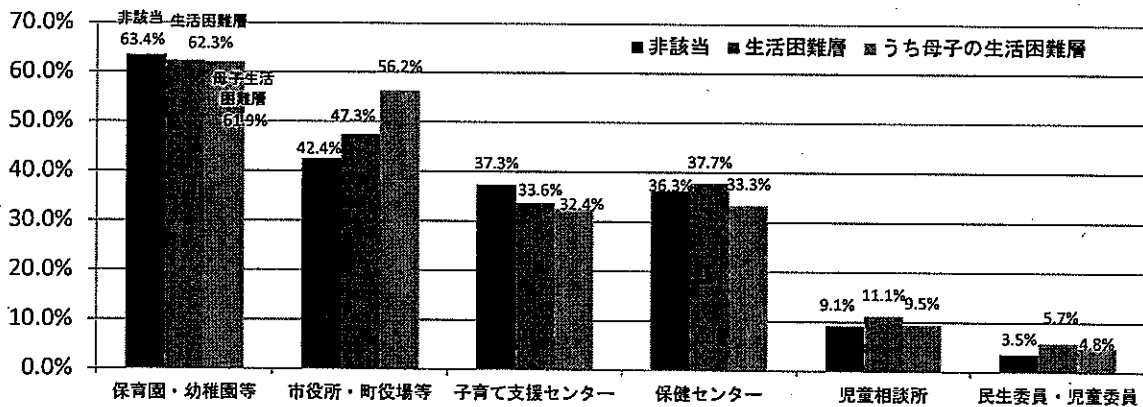
子どもに関する情報の入手経路は、年齢による大きな差はなく「友人や同僚、身近な人(82.5%)」「自分の親(45.8%)」「保育園・幼稚園・学校の先生(42.1%)」「インターネット・SNS(41.2%)」「市・町の広報紙・ホームページ(38.4%)」「配偶者(34.2%)」「兄弟姉妹親せき(27.1%)」「市町の窓口(6.6%)」の順となっている。

自分の親	配偶者	兄弟姉妹	身近な人	先生	窓口	広報紙	SNS等
11,116	8,305	6,589	20,024	10,209	1,595	9,322	9,988
45.8%	34.2%	27.1%	82.5%	42.1%	6.6%	38.4%	41.2%

支援制度の利用状況では、0歳児、5歳児の約6割が子育て支援拠点、児童館・児童センターを利用したことがあると回答している。次いで一時預かり（一時保育）は23.8%となっているが、ファミリー・サポート・センターやホームスタート、病児・病後児保育などは1割以下となっている。

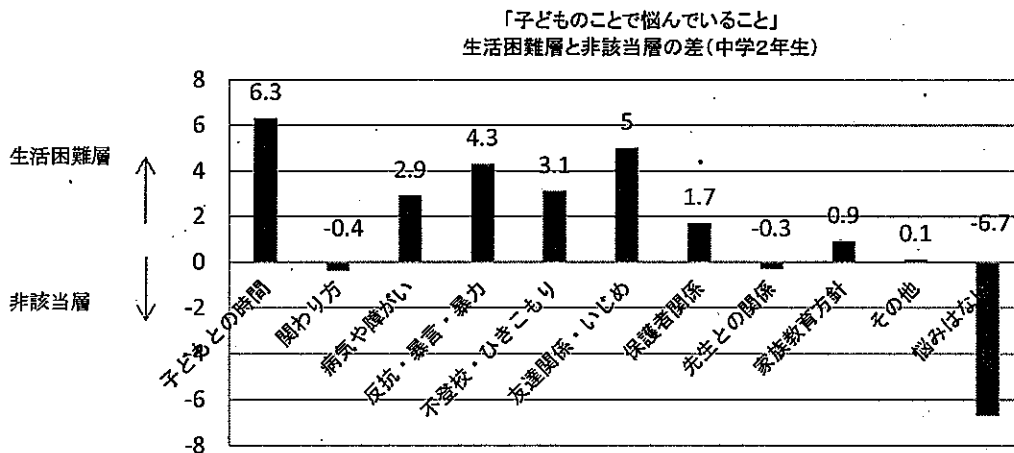
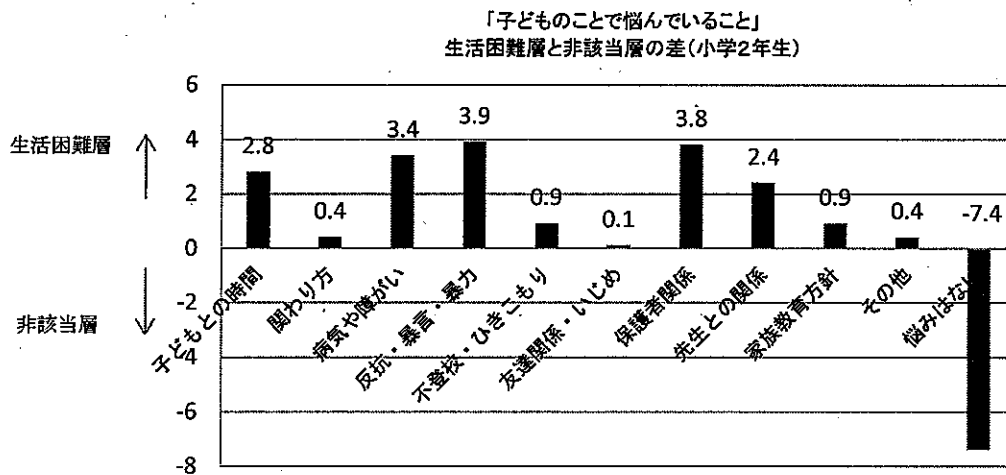
また、子育てに限らず暮らしの困りごとを相談する主な公的機関は、生活困難度にかかわらず、保育園・幼稚園等の先生、市役所等の窓口、子育て支援センター、保健センターの順となっている。

主な公的機関の相談先（0歳児・5歳児保護者）



学齢期以降、保護者が子どものことで悩んでいることは、どの学年でも子どもとの「関わり方」が約25%~30%を占めている。学年別の特徴を見ると、学年が上がるに従って「子どもとの時間」と「関わり方」が減少し、「不登校・ひきこもり」と「先生との関係」の割合が上昇する。

また、生活困難層と非該当層との差でみると、「悩みはない」に関しては、生活困難層の方が構成割合は低い。つまり、生活困難層の方がどの学年でも子どものことでの悩みを持つ割合が高く、小学2年生の開きが最も大きい。



4 子どもの状況

(1) 健康状態

健康状態を見る設問に対して、小学5年生で8割近い子どもが疲労感を訴えていることや、中学2年生の6割が昼間の居眠りがあるとしている。睡眠時間をみると、小学5年生の15.9%、中学2年生では54.0%が「7時間未満」という短い睡眠時間であり、この割合は小学5年生から中学2年生の間に顕著に増加していた。

睡眠時間が短い子どもほど主観的健康感が悪く、昼間の居眠りが「よくある」とする子、「疲れやすい」とする子、「朝食欲がない」とする子の割合が高いという関連がみられる。睡眠時間の短い子どもほど朝食欠食をする子どもの割合が高く、むし歯の保有割合が高い傾向が見られた。

【主な指標の「よくある」「時々ある」の合計】

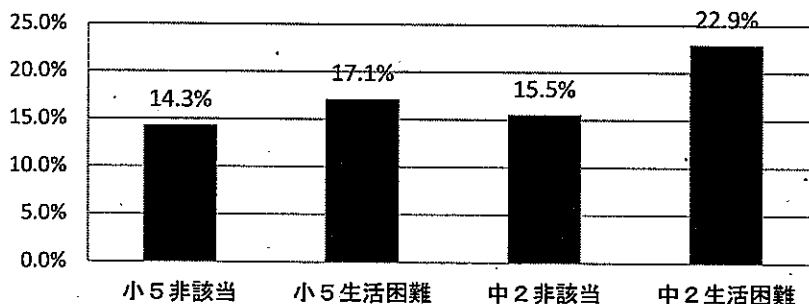
	朝、食欲がない	昼間の居眠り	疲れやすい
小学5年生	46.9%	30.4%	76.8%
中学2年生	52.0%	58.1%	86.7%

(2) 子どもの人間関係

「一番仲の良い友達」は、「学校の友達」とした小学2年生の保護者は80.8%、小学5年生78.0%、中学2年生は84.1%で、特に中学2年生が高率であり、生活困難層と非該当層間では顕著な差は見られなかった。

また、「友達に好かれている」を生活困難度で比較すると、生活困難層が非該当層を上回っており、両者の階層間の差は小学5年生の2.8ポイントから、中学2年生の7.4ポイントに拡大している。生活困難層の中学2年生は5人に1人以上が、学校生活や友人関係に肯定的感情を十分に抱けていないことが危惧される

友達から好かれていると思わない割合（小5・中2）



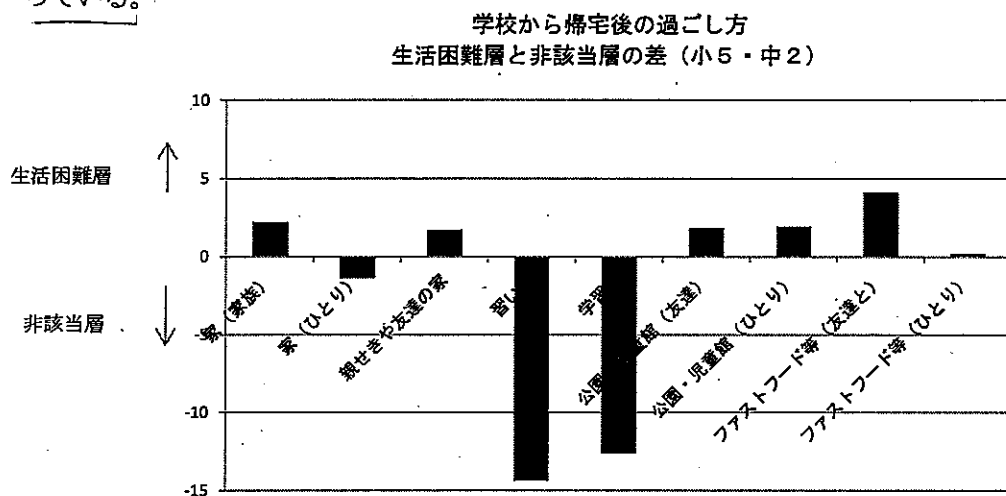
学校の先生から認められている」に「とてもそう思う」とする回答は小学5年生で34.7%、中学2年生で29.7%であり、中学2年生で5ポイント低下している。

学年間で最も顕著な差が見られたのは「学校の先生と話すのはうれしい」に「とてもそう思う」とする回答であり、小学5年生（43.7%）に比べて中学2年生（26.3%）が大きく下回る。一方、「思わない」とする回答は小学5年生から（14.4%）中学2年生（24.7%）にかけて10.3ポイント増加する。背景には、子どもの対人関係の軸が大人との関係から、より同年齢の仲間関係にシフトしていく社会性の発達的变化があると推察される。

(3) 放課後の過ごし方

小学5年生の放課後の居場所は、5年生全体では、①「自分の家で家族と(77.2%)」②「習い事(46.1%)」③「公園や児童館・児童センター、図書館で友達などと(26.1%)」④「自分の家以外の家(親せき・友達)(22.1%)」⑤「自分の家でひとりで(21.4%)」⑥「学習塾(20.7%)」の順となっている。

生活困難層の子どもは「習いごと・学習塾」で過ごす割合が、非該当層との比較でかなり低くなっている。



また、帰宅後どのようなことをして過ごしているのかについては以下のとおりである。

「勉強や宿題」

中学2年生では1時間以内が40.8%、次いで1～2時間未満が38.1%となっている。また、3時間以上勉強する子が2.2%いる一方で、8.5%の子どもは全くしないと回答している。生活困難層と非該当層を比較すると、全く勉強しない割合は、生活困難層、母子世帯の生活困難層の方が非該当層に比べて高くなっている。

「マンガ以外の読書」

小学5年生では1時間以内が約5割、34.8%はまったく読まない。中学2年生では1時間以内が約4割で、全く読まない子が5割近い。生活困難層、母子世帯の生活困難層で全く読まないと回答した割合が高い。

「パソコン・スマホでインターネットやゲームをする」

小学5年生では、2時間を超える子どもが17%であるのに対して、中学2年生では32.5%と2倍近く増えている。その割合は、生活困難層、母子世帯の生活困難層のほうが非該当層より高い。

「学習塾」

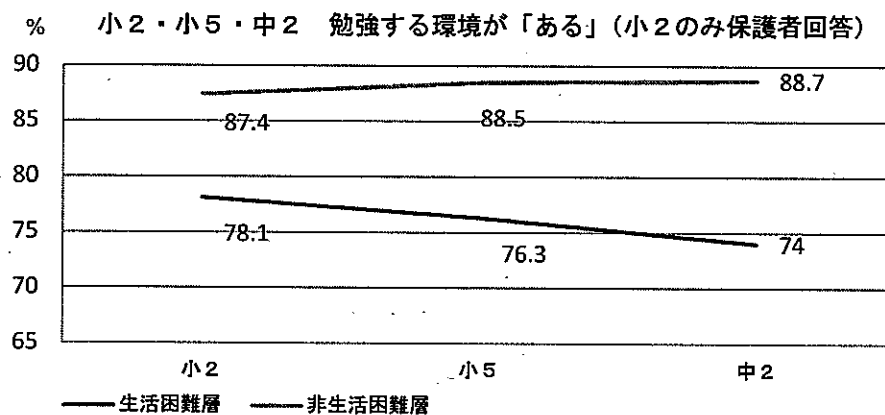
全く行かない子は小学5年生では約67.6%であるのに対して、中学2年生では47.9%と大きく減少している。また、生活困難層では72.8%と非該当層の54.3%に対して、大変高くなっている。

(4) 子どもの学習、教育環境

「学校に行くのは楽しみですか」には、小学5年生は全体で33.8%の児童が「とてもそう思う」と回答しているが、生活困難層は31.4%と、やや低い割合であった。中学2年生では、同様の質問に対し、全体で31.5%の生徒が「とてもそう思う」と回答しているが、生活困難層に限定すると28.8%と、やや低い割合であった。

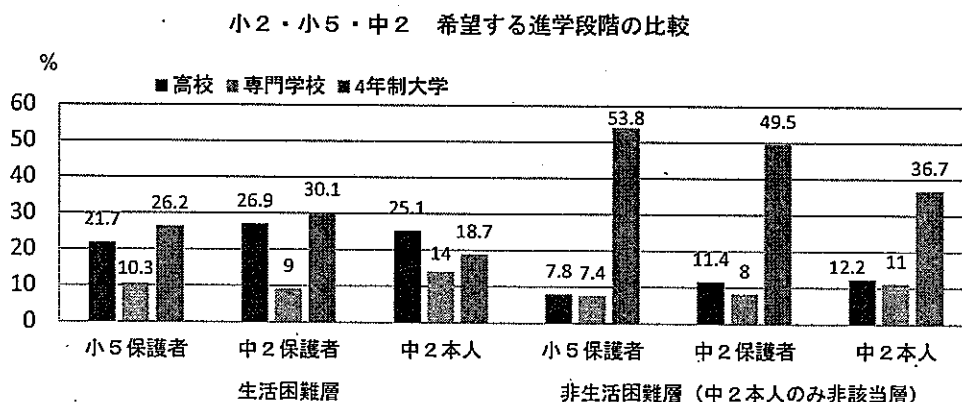
生活困難層は通学することが「楽しみだとは思わない」という回答が、小学5年生の6.0%から中学2年生の8.3%へと増加し、2.3ポイント上昇している。非生活困難層は4.9%（小学5年生）から5.3%（中学2年生）へと増加はするものの、わずか0.4ポイントの上昇である。つまり学年が上がるに従って、生活困難層の方が、通学意欲が低下する児童等が増える傾向があると言える。

勉強をする環境を質問したところ、「ある」と回答した割合は生活困難層と非生活困難層（中間層+非該当層）との間に差があり、全学年を通じて生活困難層の割合が下回った。すでに小学2年生の段階で9.3ポイントの差があり、年齢が上がるに従って差が大きくなる。



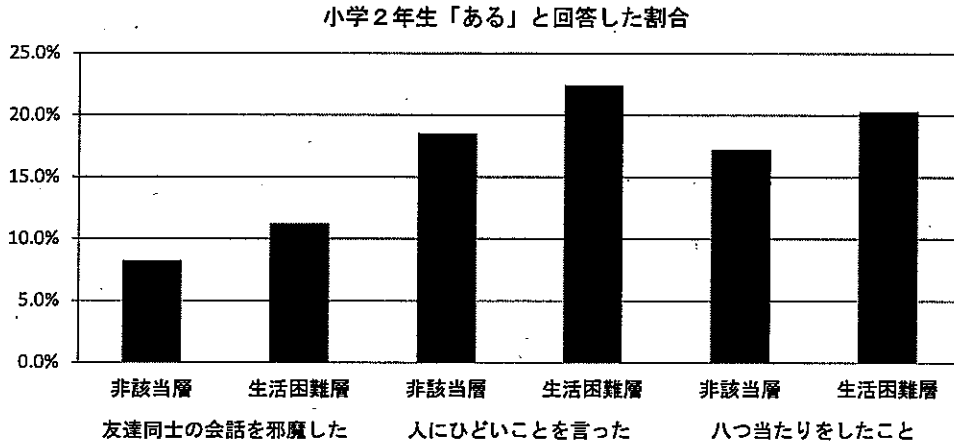
勉強不明時の相談者は、非該当層が「父親や塾に相談する」割合が高いのに対し、生活困難層では「先生や友達」に相談する割合が高い。また、非該当層がスポーツや習い事でがんばっていると回答した割合が高いのに対して、部活には生活困難層と非該当層との間に差がない。

進学段階の希望については、中学2年生では、「高校までを希望する」割合が、生活困難層は25.1%、非該当層との間で12.9ポイントの差がある。一方、4年制大学は、生活困難層は18.7%、非該当層は36.7%で18ポイント非該当層の方が高く、大きな差が見られた。

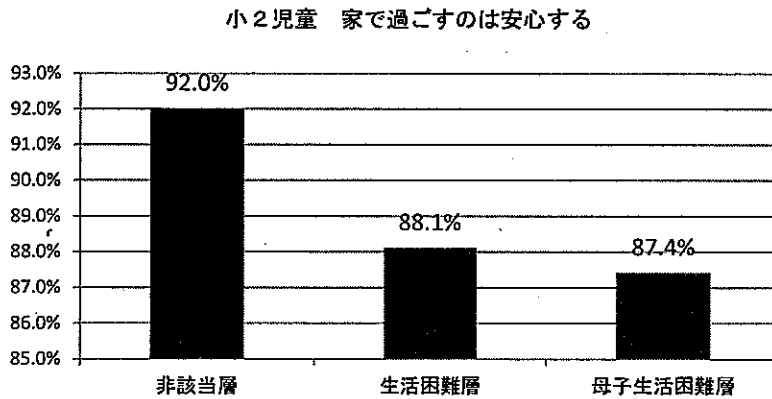


(5) 子どもの非認知能力

小学2年生で「友人の会話を邪魔した」「誹りをしたこと」「八つ当たりをしたこと」については、小学2年生では、3.0%～3.9%生活困難層が高くなり、特に「誹りをしたこと」「八つ当たりをしたこと」は、生活困難層で2割を超えており、子どもの自分の意思で感情や欲望をコントロールできない行動の現れは、小学2年生より非該当層との差がみられる。



「家で過ごすのは安心できるか」という設問については、本来は安心できる場所である家が、小学2年生の「安心できる」と答えた割合は、生活困難層が非該当層に比べ3.9%低くなっている。特に小学2年生は、ひとり親（母子のみ）世帯の生活困難層では、7.9%が「家が安心できない」と答えている。



一方、保護者の接触状況については、「子どものできたことをほめて、一緒に喜ぶ」や「こどもの気持ちを言葉にする」に「毎日ある」と回答した保護者は、小学2年生の約4割から中学2年生の2割弱と学年が上がるに従って減少しているが、生活困難層と非該当層との差は広がっていない。

一方、「子どもの話をじっくり聞く」に「毎日」と回答する保護者の割合は、全体では、小学2年生が52.7%、小学5年生43.5%、中学2年生でも35.8%と関心の高さがうかがえるが、生活困難度別では、非該当層44.9%に対し、生活困難層は、38.3%と6.6%の差が開いた。また、ひとり親（母親のみ）世帯の生活困難層は38.2%となり、就労との関係で時間の捻出のむずかしさがうかがえる。

子どもの生活に関する調査報告会の開催について

報告会では、このたび調査・分析を行った埼玉県立大学で研究責任者を務められた社会福祉子ども学科 長友祐三教授から、今回の結果から見えてきたものなどについてお話いただきます。

また、報告書（冊子）もお配りする予定です。ふるってご参加ください。

【報告会概要】

- 1 日時 平成31年3月26日（火）
14時～16時30分
- 2 場所 さいたま共済会館 6階 601・602会議室
さいたま市浦和区岸町7-5-14
- 3 内容 調査結果の概要
分析結果と考察
質疑応答

基本方針

多様な居場所を増やして地域全体で子供を支える

～地域の力を結集したキーステーションを拡大～



子ども食堂などの多様な居場所

164か所 → 800か所
(H30.8末時点)

全ての
子供対象
民の力で

平成31年度事業

1 顔の見える関係づくりと担い手の発掘

○職員による出前講座等の啓発活動で担い手を5,000人発掘【別途通知予定】

- ・ A5サイズ24p程度のミニ啓発テキストを5万部作成
- ・ 市町村、社協、自治会などの会合、セミナー、サロンなどで学習会または配布用として活用可 → アンケート有
- 「子ども食堂フォーラム」の開催（出展50団体、参加目標1,000人）
- 「子ども応援ネットワーク埼玉」による社会貢献活動の促進



2 ノウハウの普及による子供の居場所の立ち上げ支援

- 「子供の居場所づくりアドバイザー」を地域に派遣し立ち上げ支援【別途通知予定】
- ・ 市町村や社協、個人、企業、団体が派遣申込み可 県が派遣費用負担 → アンケート有
- ・ 立ち上げ目標100か所程度



○ポータルサイトで居場所マップ掲載【別途通知予定】

○啓発資材の配布等

3 安心・安全の確保（保健医療部と連携）

○食品衛生専門職の派遣

子供の居場所づくり アドバイザー

子ども食堂
運営者

食品衛生
専門職

- ・ 立ち上げ・運営支援
- ・ 衛生管理のアドバイザー
- ・ ネットワークづくりの支援

子供の居場所

子ども食堂

無料塾

地域の関係者
様々な社会資源

フードバンク

市町村・社協

団体・NPO

企業



子供の貧困問題・子供の居場所づくりに関するアンケート

ファックス送付先 埼玉県福祉部企画幹あて FAX 048-830-4784

3月29日(金)までにお送りいただきますようお願いいたします。

(※このアンケートは、別途市町村社協にも別途配布して回答をお願いしています。)

- 1 31年度に、県が作成する「子供の貧困ミニ学習テキスト」を配付いただくことが可能なセミナーや会議、大会などがありますか？

ない 未定 ある → 時期、おおよその人数をお書きください

記入例 子供の貧困市民セミナー100人 子供サポーター会議 50人 出前講座随時開催 100人、自治会会議 100人

- 2 上記1で「ある」とした場合、その中で10分程度以上の学習時間を確保できますか？

できない 検討したい できる その他 ()

- 3 子供の居場所について、31年度中に立ち上がりそうな案件がありますか？

(子供の居場所=子ども食堂、無料塾、プレイパーク、多世代交流の拠点(子供が参加するサロンなど))

ない 把握していない ある → 時期、居場所の種類を教えてください

記入例 9月頃 子ども食堂 11月頃 無料塾 時期未定 多世代交流型の居場所の立ち上げの相談を受けている

- 4 子供の居場所づくりアドバイザーの利用を希望しますか？

希望しない 検討する 運営者次第 希望する → 希望する分野は？

記入例 子ども食堂、学習支援、プレイパーク、広報 web, sns 衛生管理、プレイパーク、資金調達、フードバンク

- 5 ご意見、ご要望、個別に相談したい案件、その他どんなことでもお書きください。

「連絡希望」と書いていただければ、こちらからご連絡します。

団体名	
担当者課所名	
担当者職名	
担当者氏名	
電話番号	
メールアドレス	

★お問い合わせ先
 こども応援ネットワーク埼玉 事務局
 埼玉県福祉部企画幹 内田
 電話 048-830-3204
 e-mail kodomoouen@pref.saitama.lg.jp

※ お書きいただいた情報は、埼玉県と埼玉県社会福祉協議会で共有します。